

秋風がきんもくせい金木犀を連れてくる

ポトックス 可能性さえ秘めている

希望と共に未来の姿

名月にススキ供えてお月見を

リンドウ詠む



送り火の空にフワフワ先祖様

風鈴や風に流され群れをなす

ツバメ舞う独り立ちして故郷へふるさと

やどかり

垣根の下の花の群れ 赤白黄色美しく

種飛ばし 名は鳳仙花ほうせんか

夕日に光る青葉 朝露に濡れた葉の美しき

猫なのにゴハンと鳴いて ねだる姿の愛らしき

電車にて 身を伏して過ぎし日を思い出す

終戦記念日 あの機関銃の音は忘れない

千代



リハビリ作品展

令和五年 寝覚め月の号